

2022年度 SSWスタンダード学習会 オンライン開催

スクールソーシャルワーカーの皆さんのスキルアップ・資質向上を応援するために、

『スクールソーシャルワーク実践スタンダード』を用いた学習会を実施します。

「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」には、「スクールソーシャルワーカーは 何を大切にするのか」「スクールソーシャルワーカーはどう行動すべきか」が書かれています。「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」を定期的に取り返し、また、迷った時に立ち返る場として利用することで、スクールソーシャルワーカーが自信を持って活動できるようになり、スクールソーシャルワーカーによる支援の質が向上することを目指しています。

2022年度 SSWスタンダード学習会

第1回:11月27日(日) 13:00~16:30

第2回:12月26日(月) 13:00~16:30

参加費無料

第1回、第2回とも
同じ内容です。

<内容>

講師が「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」の内容を解説。

参加者は、解説を聞きながら一項目ずつ、どの程度実践できているかを自己評価。

小グループに分かれ、ディスカッション。

その後、各自、実践目標を設定し、グループで共有する。

<使用テキスト>

「スクールソーシャルワーク実践スタンダード(試用版)」

以下よりダウンロード可能です。

<http://educare.web.fc2.com/standard2017.pdf>

<講師> 馬場 幸子

関西学院大学 人間福祉学部教授

兵庫県 SSW 活用事業 スーパーバイザー



<学習会 申し込み方法>

下記 URL または右上の QR コードにアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

第1回は11月23日、第2回は12月22日にそれぞれ申し込みを締め切ります。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=MATZn9TuPk6aWibN1NnIs7EmX0whnW5PmLB_hPTR-dvURVNTUUszRURTR05JQUoxQTErRkk1NFRLUy4u

2013年度より4年にわたり取り組んだ「日本版スクールソーシャルワーク実践スタンダード」の開発が実を結び、2016年度末に「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」(試用版)が完成しました。2017年度から2020年度にかけ、年に4～6回、「スタンダード」を用いた学習会を開催しました。継続的に学習会に参加したスクールソーシャルワーカーは、「スタンダード」の活用を通して[課題の意識化]や[基盤の構築・再確認]を行い、また、他者に対して[自信を持った説明や伝達]ができるようになるなどの効果を実感していました。現在、自治体での「スタンダード」活用法について研究中です。

スクールソーシャルワーク実践スタンダードの項目

Standard 1	倫理と価値	Standard 8	コンサルテーション
Standard 2	権利擁護	Standard 9	意思決定と実践評価
Standard 3	多様性の尊重	Standard 10	資格・資質
Standard 4	専門性の発揮	Standard 11	専門性の向上
Standard 5	アセスメント	Standard 12	記録
Standard 6	支援の計画と実施	Standard 13	仕事量の管理
Standard 7	連携		

※この学習会は、日本学術振興会科学研究費基盤研究C「自治体スーパービジョン用「SSW 実践スタンダード」活用マニュアルの開発」(代表：馬場幸子)の一環として行われます

学習会に関する問い合わせ先：馬場幸子 sbamba@kwansei.ac.jp

問い合わせの際は、必ず件名に「スタンダード学習会 問い合わせ」とご記入ください。

<シンポジウム予告>

2023年1月22日に、

3～4つの自治体のスクールソーシャルワーカーと事業担当者をシンポジストとし、「自治体におけるSSW 実践スタンダードの活用」についてのシンポジウムを開催予定です。

「スタンダード」の読み合わせ、事例検討での活用、「スタンダード」を用いた目標設定と自己評価など、「スタンダード」を活用している自治体からの活用事例を発表してもらう予定です。

なお、シンポジウムでは、「スタンダードとは何か」の詳細説明をする時間はありませんので、「スタンダード」をご存じない方は、「スクールソーシャルワーク実践スタンダード」とは何かを、11月、12月の学習会でお知りになったうえで、1月のシンポジウムに参加されることをお勧めします。(シンポジウムのみ参加も可能です。)